

教科目名 環境計画 (Environmental Planning)

学科名・学年 : 都市システム工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 高見徹

| 授業の概要 | | | |
|---|--|--|-----------|
| <p>本科目では, (1)環境基本法の 3 つの基本理念を実現するための施策の大綱と政策手段の在り方等を定めた「環境基本計画」についての解説, (2)地球温暖化と水環境 (上下水道) における CO₂削減対策とその技術, ならびに(3)「川の環境目標を考える」ことを主題として, 環境目標設定までの一連の流れを計画するために必要な基礎的な知識 (現状調査, 評価, 将来予測, 対策の検討などの方法) と地域水環境における具体的な事例について解説する。</p> | | | |
| 達成目標と評価方法 | | 大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (d1⑤) (g) | |
| <p>(1) 環境基本法の 3 つの基本理念や, 環境基本計画について理解できる。(定期試験)</p> <p>(2) 地球温暖化のメカニズムと水環境における CO₂排出量削減のための具体的な方策を理解できる。(定期試験)</p> <p>(3) 河川の環境目標を設定するための考え方が理解できる。(定期試験)</p> <p>(4) 河川環境の目標設定の流れ (概要と具体的方法) が理解できる。(定期試験)</p> <p>(5) 地域水環境についての環境目標を考察することができる。(定期試験)</p> | | | |
| 回 | 授 業 項 目 | 内 容 | 理解度の自己点検 |
| 1 | 概説 | ○講義内容の概要と, 講義の進め方について説明する。 | 【理解の度合い】 |
| 2 | <p><環境基本計画></p> <p>(1) 環境基本法の基本理念</p> <p>(2) 環境基本計画策定の背景と意義</p> <p>(3) 環境政策の基本方針</p> | <p>○環境基本法成立の背景と 3 つの基本理念, ならびに環境基本計画策定の意義が理解できる。</p> <p>○環境政策の基本的考え方および長期的な目標が理解できる。</p> | |
| 3 | <p><地球温暖化と水環境における CO₂削減対策></p> <p>(1) 温室効果と地球温暖化のメカニズム</p> | <p>○CO₂による温室効果と地球温暖化のメカニズムについて理解できる。</p> <p>○地球温暖化による環境影響を理解できる。</p> | |
| 4 | (2) 地球温暖化による環境影響 | ○上下水道における CO ₂ 排出量と具体的な削減対策を考察できる。 | |
| 5 | (3) 水環境における CO ₂ 排出・吸収量 | | |
| 6 | (4) 上下水道における CO ₂ 排出量と削減対策 | | |
| 7 | | | |
| 8 | 後期中間試験 | | 【試験の点数】 点 |
| 9 | 後期中間試験の解答と解説 | ○分からなかった部分を理解する。 | 【理解の度合い】 |
| 10 | <p><河川環境の目標設定の考え方></p> <p>(1) 河川環境の質とその変遷の概要</p> <p>(2) 河川環境の潜在的な状態と目標</p> <p>(3) 河川環境の目標設定</p> | ○環境目標の設定の考え方が理解できる。 | |
| 11 | <p><河川環境の目標設定の流れ></p> <p>(1) 「現状の把握」, 「現状の評価」</p> <p>(2) 「将来予測」, 「保全・再生の必要性の検討」</p> | <p>○河川環境の目標設定の流れの概要が理解できる。</p> <p>○現状の把握と評価の方法が理解できる。</p> <p>○将来予測と保全・再生の必要性の検討方法が理解できる。</p> | |
| 12 | <p>(3) 「具体的な対策の検討」, 「対策の実施」</p> <p>(4) 「フォローアップ」</p> | ○対策の実施やフォローアップの事例について理解できる。 | |
| 13 | <p><地域水環境における事例研究></p> <p>(1) 大分川・大野川</p> | ○地域水環境についての環境目標を考察することができる。 | |
| 14 | (2) 番匠川・山国川 | | |
| 15 | 後期期末試験 | | 【試験の点数】 点 |
| | 後期期末試験の解答と解説 | ○わからなかった部分を理解する。 | |
| 履修上の注意 | | 本科目の修得には自主的および継続的に学習できる力が必要である。 | |
| 教科書 | プリントを配布する。 | | 【総合達成度】 |
| 参考図書 | 環境省編, 「環境基本計画－環境から拓く新たなゆたかさへの道－平成 18 年度 4 月閣議決定第 3 次計画」, ぎょうせい。 河川環境目標検討委員会編, 「川の環境目標を考える－川の健康診断－ (中村太士・辻本哲郎・天野邦彦監修)」, 技報堂出版。 | | |
| 関連科目 | 公園緑地計画, 環境システム, 都市景観学, 地域計画学 | | |
| 総合評価 | 達成目標の (1)～(5) について 2 回の定期試験で評価する。 総合評価＝2 回の定期試験の平均 総合評価が 60 点以上を合格とする。 | | |
| | | | |